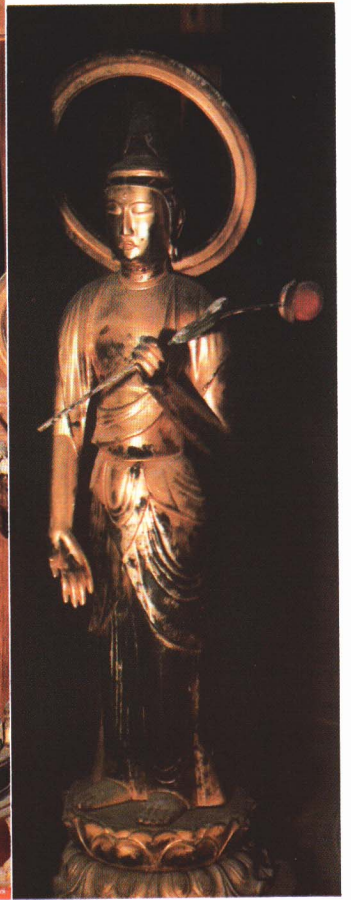




脇侍 日光菩薩像



田子薬師如来座像



脇侍 月光菩薩像

## 木造田子薬師如来座像

昭和五年二月 村重要文化財指定

所在地 新鶴村大字新屋敷字山王塚甲九九

(常福院薬師堂)

管理者 新屋敷部落(常福院)

常福院薬師堂本尊の寄木造り漆箔の木彫座像であり、当村では随一の大座像である。

像高一七四センチ、座高八六センチ

左手の薬瓶は後補のものと言われている。右手は施無畏印、螺髪は省略して布目様であり、江戸時代初期頃の作と言われている。玉眼嵌入の目は下目づくりの慈相を表わす。光背蓮座も保存が良く、昔のままの光彩を保っている。

脇侍右日光菩薩、左月光菩薩、四天王、十二神将が祀られているが、この像は皆、元禄一〇(一六九七)年、御堂再建の時に祀られている。

なお、この他に「季薬師」と呼ばれる木仏が祀られており、これについては「大同二(八〇七)年僧空海が高寺(会津坂下町)で李材を用いて薬師像を刻み、これをこの地に祀った。同年僧徳一が別に一像を刻み、共座させた」との伝承がある。